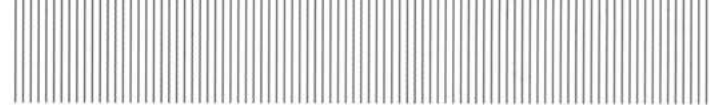


NESPRESSO®

C250



C250 ◆ 取扱説明書



このたびは、ネスプレッソ・コーヒーマーカーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

もくじ	1
使用上のご注意	2~3
安全上のご注意	3
各部の名称	4
ご使用前に	5
ご使用方法	6~9
お手入れの仕方	10~11
「故障かな?」と思ったら	11
製品仕様	12

使用上のご注意

- 電源は必ず15A以上の独立したコンセントからお取りください。また、延長コードのご使用、たこ足配線は非常に危険ですので絶対におやめください。
- 最大約13Aの電流が流れますので、他の電気器具と同時に使うときは、ブレーカーの容量を超えないようにしてください。
- 本製品は日本向け仕様(100V専用)ですので、電源・電圧の異なる海外でのご使用はできません。

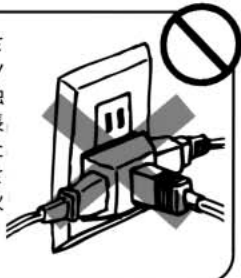
- 本体に水をかけたり、水につけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。



- 子供だけのご使用、また幼児の手の届くところでの使用はおやめください。けが、やけど、感電の恐れがあります。
- 特に使用後は、ホルダー受け、スチームパイプ、カプセルホルダー、カプセルが熱くなっています。



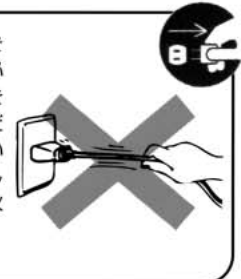
- 電源は必ず適正配線された、100Vのコンセント(15A以上)から単独でお取りください。延長コードなどを使ったたこ足配線はおやめください。異常発熱して発火することがあります。



- 万一、熱湯がドリッピングしないなど異常が生じた場合には、ネスプレッソに修理をご用命ください。修理サービスマン以外の方が分解、修理を行いますと、発火したり、異常動作が起こり、けがをすることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。正しく抜かないとコードが傷み、感電したり、ショートして発火することがあります。



- ご使用前には、必ずコードや差し込みプラグを点検してください。コードや差し込みプラグは、傷んだまま使用すると、やけど、感電、火災などの原因になります。



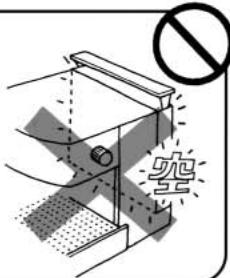
- ご使用中は本体を動かさないでください。なお、ご使用直後は、フィルター、フィルターホルダーおよびスチームパイプが熱くなっていますので、手を触れないでください。



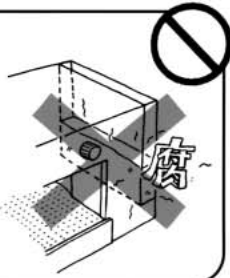
- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わないでください。火災の原因になります。



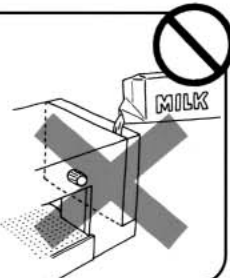
- 給水タンクが空のまま電源を入れないでください。故障の原因になります。



- 給水タンクに水を残したまま放置しないでください。水が腐敗します。水は常に新しいものをご使用ください。



- 給水タンクの中には、熱湯、牛乳、酒、一度沸かしたコーヒーなど、水以外のものは入れないでください。本体内部が汚れたり、詰まったりして故障の原因になります。



- できるだけ浄水器を通した水をご利用ください。ミネラルウォーターのご使用は、ミネラル分が本体内に付着して詰まる等、故障の原因になります。



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

○絵表示の例



- ・△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



- ・○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



- ・●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



コーヒー抽出口に指を入れたりしないでください。内部の針でけがをすることがあります。



注意

電源プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



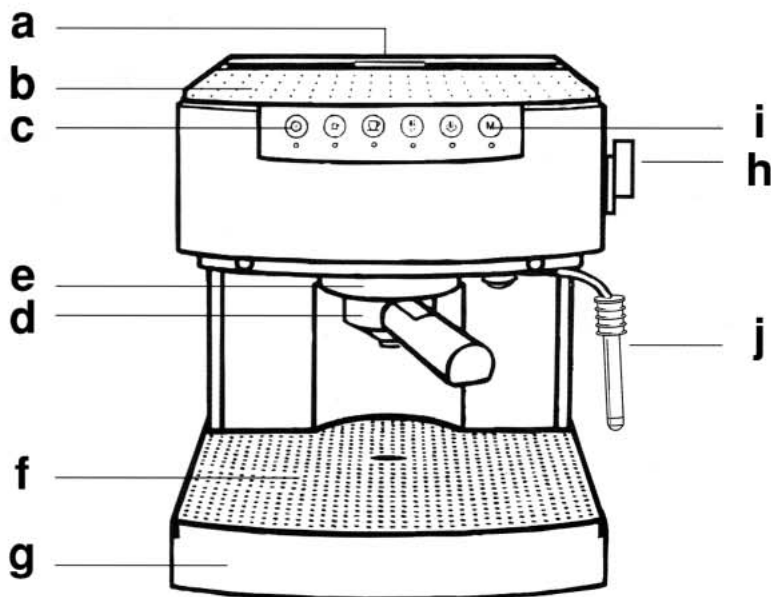
各部の名称



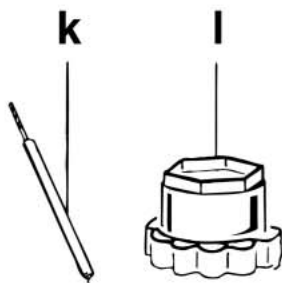
1 2 3 4 5 6

操作基盤

1. ON/OFF電源スイッチ
2. 小カップボタン
3. 大カップボタン
4. 給湯ボタン
5. スチームボタン
6. コーヒー量設定ボタン(メモリボタン)



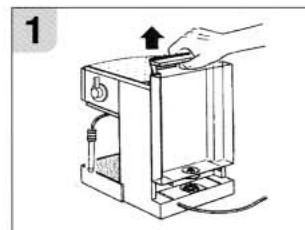
- a. 給水タンク(1.8リットル)
- b. カップ保温プレート
- c. ON/OFFスイッチ兼適温表示ランプ
- d. カプセルホルダー
- e. カプセルホルダー受け
- f. 排水グリッド
- g. 排水受け皿
- h. スチーム・給湯切換ノブ
- i. メモリ設定ボタン
- j. スチーム・給湯ノズル
- k. カプセルケーシングのクリーニングツール
- l. カプセルケーシング取り外し六角レンチ



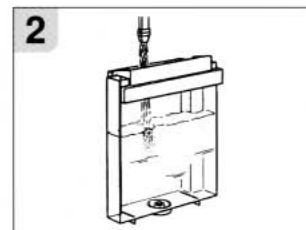
※カプセルケーシングのお手入れの仕方はP.10をご参照ください。

ご使用前に ● 湯通しの方法

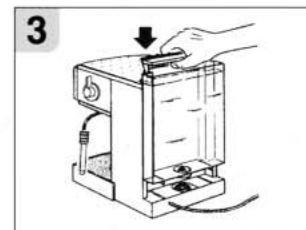
はじめてコーヒーマーカーをご使用になる前に下記の手順で湯通ししてください。



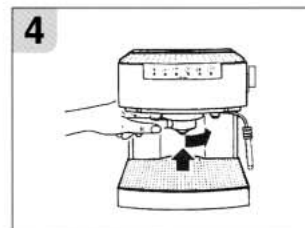
1 給水タンクのハンドルを持って水タンクを取り外します。



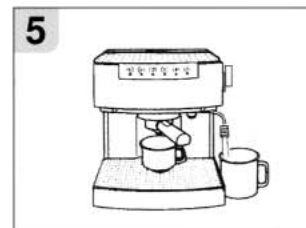
2 給水タンクには最大1.8リットルの水が入ります。



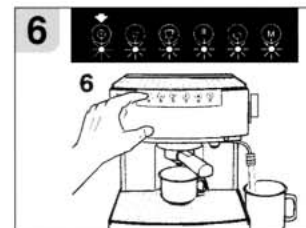
3 給水タンク下部のノズルが本体の受け口にしっかり収まるように静かに水タンクを戻してください。



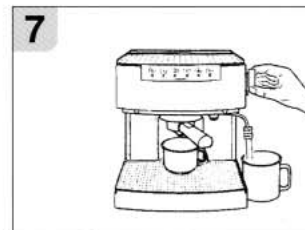
4 カプセルコーヒーを入れないでホルダーをセットします。ホルダーを図のように本体の左側からホルダー受けに入れ、右の方向にしっかり閉めてください。ホルダーのハンドル位置は正面か多少右の位置になります。



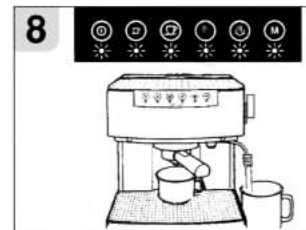
5 カップ2個を準備し、カプセルホルダーの下とスチームノズルの下にそれぞれ置いてください。



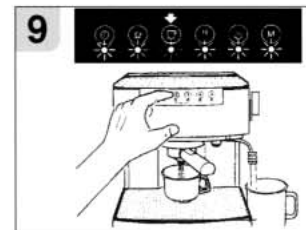
6 ON/OFFスイッチを入れますと、この赤ランプが点滅し、その他の緑ランプが点灯します。



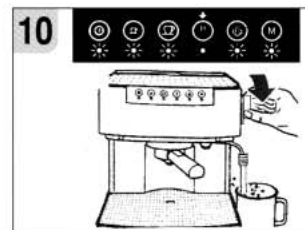
7 図6の方法で緑ランプが点灯しない場合は、スチーム・給湯ノブを閉めてください。



8 赤いランプの点滅中はまだコーヒーマーカーが温まっていないことを意味します。点滅から点灯にかわるまでお待ちください。



9 大カップボタンを押してください。緑ランプが点滅し、お湯が出てきます。この動作を5回ほど繰り返してください。



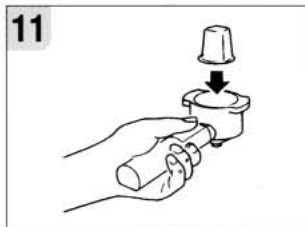
10 次に、給湯ボタンを押してください。緑ランプが点灯しますから、スチーム・給湯ノブを開けてください。約1/2リットルのお湯を出してから、スチーム・給湯ノブを閉めてください。

重要ポイント

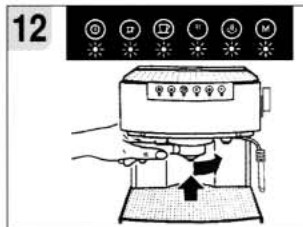
スチーム・給湯切換ノブはコーヒー抽出の位置にきっちり戻っているかご確認ください。戻っていない状態でコーヒーを抽出した場合スチームノズルからお湯が出ることがあります。

ご使用方法 ㉑ コーヒーのつくり方

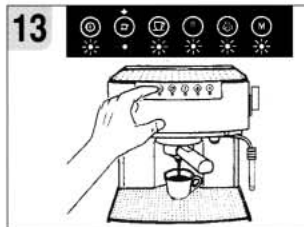
本体とカプセルホルダーが適度に温められていないと、最適な温度でコーヒーを抽出することができません。お使いははじめになる約5分～10分前にスイッチを入れておくと、湯通しの要領で前ページの図4～図9の動作(ただし1度だけ湯通し)で本体やカプセルホルダーを温めることができます。



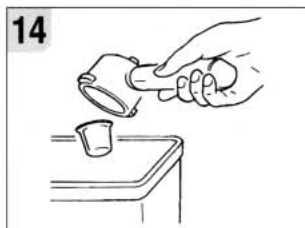
11 カプセルコーヒーの銀色の面をカプセルホルダーのフィルターに合うようにして、カプセルコーヒーをカプセルホルダーに入れます。(カプセルコーヒー1個でコーヒー1杯分)



12 カプセルホルダーをホルダー受けにセットします。カプセルホルダーを図のように本体の左側からホルダー受けに入れ、右の方向にしっかり締めてください。締めたあと、ホルダーのハンドル位置は、本体の正面が多少右の位置になります。



13 あらかじめ温められたコーヒーカップをカプセルホルダーの下に置き、小カップボタンまたは大カップボタンを押して、コーヒーを抽出してください。(F.コーヒーカップの保温を参照)



14 コーヒー抽出後はカプセルホルダーを取り外し、使用済のカプセルを捨ててください。また、カプセルホルダーは常に本体にセットした状態で温めておいてください。

ご注意

長い間このコーヒーメーカーをご使用にならない場合や、使いはじめには湯通しをし、本体内部を洗浄してください。

ワンポイントアドバイス

設定されているコーヒー抽出量
●小カップ：50cc
●大カップ：100cc
変更するには、B.プログラムの変更を参照

ワンポイントアドバイス

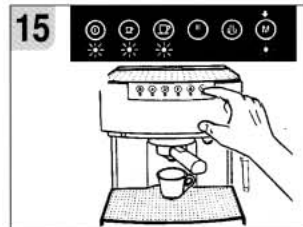
おいしいコーヒーをつくるには、良い水とお手入れが必要です。新鮮な水道水、または浄水器を通した水を使ってください。水は毎日取り替え、給水タンクは最低1週間に1度、きれいに洗ってください。ミネラルウォーターはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

ワンポイントアドバイス

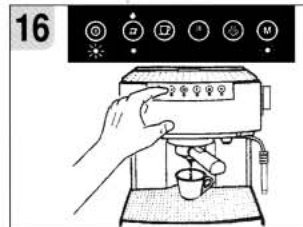
コーヒーメーカーを最良のコンディションに保つために、1日の使いはじめと最後にカプセルホルダーを水道水で流し洗ってください。また、別売のカプセルホルダークリーニングリキッドのご使用をおすすめします。(商品番号：3036)

ご使用方法 ㉒ プログラムの変更(コーヒー抽出量の変更)

コーヒーメーカーの電源を入れた状態でカプセルコーヒーをホルダーにセットし、コーヒーカップをコーヒー抽出口の下に置いてください。



15 ON/OFFスイッチの赤ランプが点滅から点灯に変わった状態でメモリボタン(M)を押してください。(M)の緑ランプが点滅し、小カップと大カップボタンが点灯したままの状態になります。



16 小カップボタンを押し続け、希望の量に達したら、ボタンから手をはなしてください。

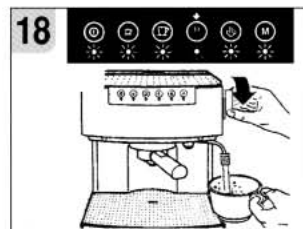


17 メモリボタン(M)をもう一度押しますと、抽出量が設定されます。次に大カップの設定を行いますが、同じ要領で繰り返してください。

ご使用方法 ㉓ 給湯の方法(お湯を取り出す)

★紅茶・緑茶・スープ・ココア・インスタントコーヒー

水タンクに水があることを確認し、コーヒーメーカーの電源を入れてください。



18 スチームノズルの下にカップを置き給湯ボタンを押すと、緑ランプが点滅します。スチーム・給湯ノブを開けますと、お湯が出てきます。必要量のお湯が出ましたら、スチーム・給湯ノブを閉めて停止させてください。

重要ポイント

スチームを使ったあとは、赤いランプが点滅します。すぐコーヒーを抽出したい場合はヒーターの温度を下げなければなりません。早く下げるためにカップ一杯分のお湯を空出しして下さい。

ご注意

使用後のスチーム・給湯ノズルは大変熱くなっていますので、取扱には充分ご注意ください。

ご注意

コーヒーを抽出した後、スチームや給湯を使う前に、必ず使用済みのカプセルをカプセルホルダーから取り除いてください。そのままにしておくと、ホルダー内のプレートが目詰まりの原因となります。

ご使用方法 ②牛乳の泡立て方法(スチーム).....

★カプチーノ

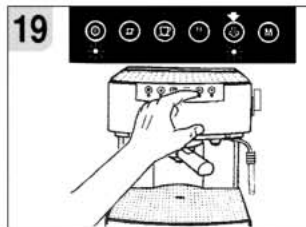
水タンクに水があることを確認し、コーヒーマーカーの電源を入れてください。
この時、カプセルホルダーに使用済のカプセルがあれば、取り除いてください。

準備1

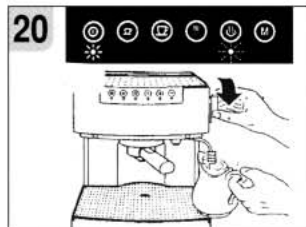
あらかじめカプチーノカップに1/3ほどコーヒーを抽出しておきます。

準備2

少し深めのメジャーカップなどに、冷たい牛乳を1/2~1/3ほど入れておきます。



スチームボタン(蒸気の図)を押しますと、赤ランプと緑のスチームランプが点滅し、その他の緑ランプは消えた状態になります。もし赤ランプの点滅が点灯に変われば、ヒーターが適温になり使用できます。



スチーム・給湯ノズルを牛乳の入ったカップの中に浸けたままの状態、スチーム・給湯ノブを開けますと、蒸気が出てきます。この際、ノズルの先端がカップの底に付かないようにしてください。泡立ちが完全にできたら、スチーム・給湯ノブを閉めて停止させてください。

ご注意

牛乳に浸けるノズルの深さは、いちばん細かな泡が出る位置が理想的ですが、牛乳の表面に近すぎますと大きな泡が飛び散ることがありますので、ご注意ください。

ワンポイントアドバイス

- ・冷えた牛乳でないと泡立ちません。
- ・低脂肪や特殊加工された牛乳は泡立ちません。成分無調整の牛乳をお使いください。

重要ポイント

スチーム・給湯切換ノブはコーヒー抽出の位置にきっちり戻っているかご確認ください。戻っていない状態でコーヒーを抽出した場合スチームノズルからお湯が出ることがあります。

ワンポイントアドバイス

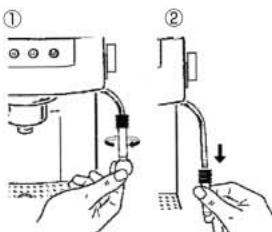
より簡単に作りたい時は、牛乳を直接カプチーノカップに1/3入れ、そのまま上記の方法で泡立てをし、その上にコーヒーを抽出します。

重要ポイント

使ったスチームノズルを放置しておきますと、牛乳のカスがノズル内部で固まり、詰まりの原因になります。ノズルをキッチンペーパーやキッチンタオルなどで包み、牛乳を泡立てる要領でもう一度操作を繰り返してノズル内部の牛乳を排出してください。

スチームノズルの取外し方法

コインなどでネジを取り外し、ぬるま湯で洗ってください。



③ ノズル先端を取外し洗浄してください。



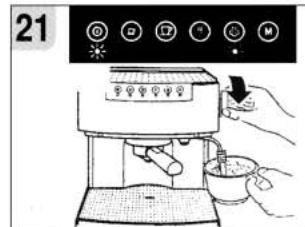
ご使用方法 ③牛乳を温める(スチーム).....

★カフェラテ

水タンクに水があることを確認し、コーヒーマーカーの電源を入れてください。
この時、カプセルホルダーに使用済のカプセルがあれば、取り除いてください。

準備

スチームボタン(蒸気の図)を押しますと、赤ランプと緑のスチームランプが点滅し、その他の緑ランプは消えた状態になります。もし赤ランプの点滅が点灯に変われば、ヒーターが適温になり使用できます。



スチーム・給湯ノズルのパイプを3~5mm上にスライドさせ、牛乳の入ったカップの中に浸けたままの状態、スチーム・給湯ノブを開けますと、蒸気が出てきます。この際、ノズルの先端がカップの底に付かないようにしてください。完全に温まりましたら、スチーム・給湯ノブを閉めて停止させてください。

重要ポイント

スチームを使ったあとは、赤いランプが点滅します。すぐコーヒーを抽出したい場合はヒーターの温度を下げなければなりません。早く下げるためにカップ一杯分のお湯を空出して下さい。

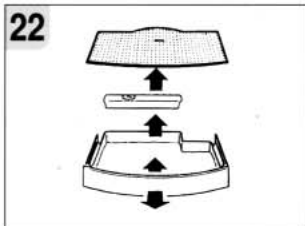
重要ポイント

使ったスチームノズルを放置しておきますと、牛乳のカスがノズル内部で固まり、詰まりの原因になります。ノズルをキッチンペーパーやキッチンタオルなどで包み、牛乳を泡立てる要領でもう一度操作を繰り返してノズル内部の牛乳を排出してください。

ご使用方法 ④コーヒーカップを温める.....

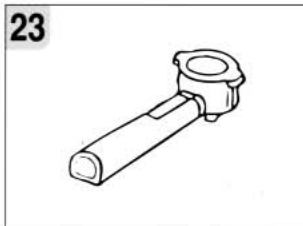
よりおいしくお召し上がりいただくために、コーヒーを抽出する前にコーヒーカップを温めておくことをお勧めいたします。このコーヒーマーカーは最高のコーヒーをつくるのに必要な温度に設定されています。コーヒーカップが冷えていますと、抽出したコーヒーが冷え、飲んだ時に多少ぬるく感じる場合があります。コーヒーカップを熱いお湯に通すか、本体の天板にあります保温プレートにコーヒーカップをならべ、あらかじめ温めておいてください。

お手入れの仕方① 通常のお手入れ



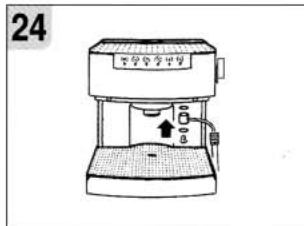
排水グリッドと受け皿

蒸気やコーヒーのドリップ残水が受け皿にたまりやすくなります。約20杯のコーヒーを抽出した後は、排水グリッドと受け皿を取り外し、食器洗い用の洗剤で水洗いしてください。またクリーニング後、受け皿内のブロックカバーは正しい位置にセットしてください。



カプセルホルダー

カプセルホルダーは常に水道水で流し洗ひするか、別売のカプセルホルダークリーニングリキッドで洗浄してください。(商品番号：3036) そのままにしておくとうホルダーのフィルターの目詰まりの原因になります。(なお食器洗い機での洗浄では、ホルダー内部まで洗浄できません。)



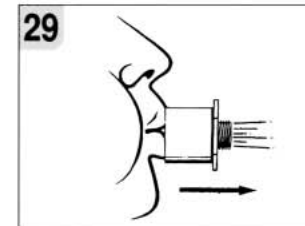
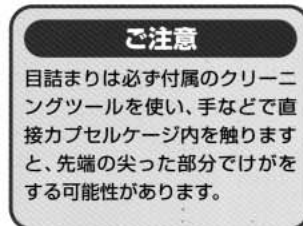
スチーム・給湯ノズル

毎回使う度に、ノズルはキッチンタオルなどで牛乳カスを拭き取る必要がありますが、もし目詰まりが生じた場合は、コインなどでネジを取り外し、ぬるま湯で洗ってください。また、ノズルを元に戻す時は、Oリングを忘れないように取り付けてください。取り付け忘れると、水もれの原因になります。

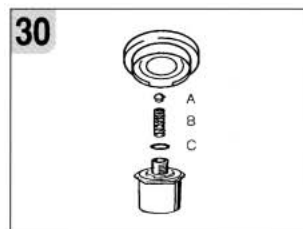
お手入れの仕方② カプセルケースのお手入れ(続き)



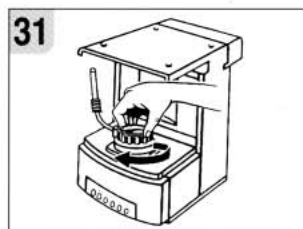
取り外したカプセルケースを水道水で流し洗ひし、付属のクリーニングツールで2箇所(穴)の目詰まりとネジ部のまわりをクリーニングしてください。



図のようにカプセルケースに息を吹きかけ内部に残ったコーヒー粉を吹き出し、その後同じ動作を繰り返します。前図の要領でクリーニングツールを使った後、口で粉を吹き出します。



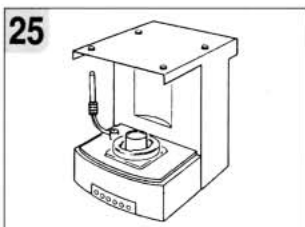
グリースをネジ部やOリングのまわりにぬり、図のような順番で各パーツを元の位置に取り付けてください。



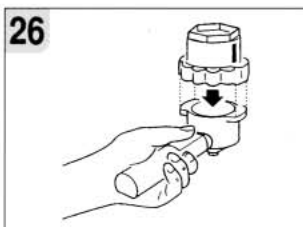
手でカプセルケースを廻しながら取り付け、最後に六角レンチで締めてください。この際、カプセルホルダーは使わないで手締めで行ってください。

お手入れの仕方③ カプセルケースのお手入れ

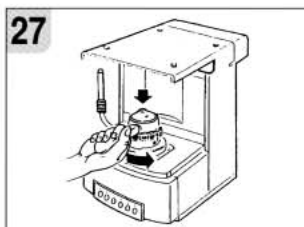
通常お使いいただいている状態では、カプセルケースのクリーニングはあまり必要ではありませんが、コーヒーを抽出中に水タンクの水が無くなる状態を繰り返しますとコーヒーの粉がカプセルケースに詰まることがあります。この場合は、下記の手順でお手入れしてください。



電源コードをコンセントから外し、コーヒーメーカーを冷ましてから、排水グリッドと排水受け皿を取り、本体を上下逆さまにして平台の上に置いてください。



カプセルホルダーに同梱付属品の六角レンチをセットしてください。



カプセルホルダーにセットされた六角レンチでカプセルケースを左廻し(時計廻りと反対)で緩め、あとは手で取り外します。

ご注意


スイッチがONになっていた状態のすぐ後は、カプセルケース部分は非常に熱くなっていますので、冷めた後に作業してください。

「故障かな?」と思ったら

- ◆コーヒーの温度が低い
 - カップをお湯で温めてから、コーヒーを抽出してください。(9ページ参照)
 - カプセルホルダーが冷えていませんか。一度湯通ししてください。(5ページ参照)
- ◆ポンプの音が大きい
 - 水タンクに水が入っていますか。(5ページ図2参照)
 - 水タンクは正しくセットされていますか。(5ページ図3参照)
- ◆カプチーノ用の牛乳が泡立たない
 - スチームノズルが詰まっていませんか。(8ページ重要ポイント参照)
 - 温かい牛乳を使っていませんか。(8ページアドバイス参照)
 - 低脂肪の牛乳を使っていませんか。(8ページアドバイス参照)
- ◆コーヒーが出ない
 - カプセルホルダーは正しくセットされていますか。(6ページ図12参照)
 - カプセルホルダーのプレートが目詰まりしていませんか。(10ページ図23参照)
 - カプセルケースが目詰まりしていませんか。(10ページ参照)

仕様

電源	: 100V 50/60Hz
消費電力	: 1270W
給水タンク	: 1800cc (デミタスカップで36杯、カプチーノカップで18杯)
付属品	: カプセルホルダー、クリーニングツール、六角レンチ
大きさ	: W255×D280×H270mm
本体重量	: 6Kg
コードの長さ	: 1.32m

<p>愛情点検</p>  <p>長年ご使用の コーヒーマーカーの点検を!</p>	<p>このようなことは ありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。 ●コードに傷がついていたり、 触れると通電したりしなかったりする。
	<p>このようなときは使用を中止し、事故防止のため、 必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

便利メモ おぼえのため記入されると便利です

品番	C250	お買い上げ日	年 月 日
販売店名	☎ ()		

ネスレ日本株式会社 ネスプレッツ事業部
〒105-0014 東京都港区芝2丁目1番33号
TEL. ☎0120-57-3101